



題 材 名：世界の様々な楽器の音楽を味わおう [全3時間計画]

教 材 名：【日本】「春の海」〈尺八、箏〉
【インドネシア】「チャトリ」〈スリン、カチャピ〉
【ペルー】「ウマウアケーニョ」〈ケーナ〉
【イラン】「キャラバン」〈サントウール〉

指導事項：B鑑賞（I） ア（ウ） イ（ウ）

思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素： 音色 リズム 旋律

— 題材の目標 —




日本の伝統音楽と世界の諸民族の音楽の音色、リズム、旋律の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴き、世界の様々な音楽に対する興味・関心を広げ、音楽文化を大切にする態度を養う。

— 指導のポイント —



世界の諸民族の楽器を調べると、同じような楽器が多く地域にみられる一方、ある地域にしかないような珍しい楽器もあります。このように楽器には音楽を奏でる道具としての普遍的な側面と、自然環境や文化の違いからくる地域的な側面とがあります。この題材では、気鳴楽器〔尺八、スリン、ケーナ〕と弦鳴楽器〔箏、カチャピ、サントウール〕を使用した、日本の伝統音楽と世界の諸民族の音楽の比較鑑賞を行います。演奏方法や使用されている音階などの共通点や楽器の素材による音色の違いなどの相違点を挙げながら、それらの音楽の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにし、音楽の多様性に対する興味・関心を広げ、音楽文化を尊重することにつながられるようにすることがポイントです。

～学習の流れ～

つか お 追 求 す る ま と め る	気付く	【題材の課題】 世界の様々な楽器による音楽の特徴を捉え、音楽のよさや美しさを味わおう ○日本とインドネシアの楽器の音色を聴き取り、気付いたことや感じたことを共有する。 ○音楽から喚起されるイメージや思い浮かぶ場面を考える。 ○題材の課題解決に向けて大まかな見通しをもつ。
	探る	○音楽を形づくっている要素を手がかりに、イランとペルーの音楽の特徴を捉える。 ○聴き取ったり感じ取ったりしたことを基に、共通点や相違点を探る。 ○音楽の背景となる文化や歴史に触れる。 ○音楽を探って捉えた意見をグループで共有する。
	伝える	○音楽に対する評価を紹介文シートにまとめる。 ○紹介文をグループで伝え合う。 ○自分や他者の意見を確認し、再鑑賞を行う。 【課題を達成した姿】 世界の様々な楽器の音楽の共通性や固有性について考え、音楽の多様性を理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わっている

学習活動	活動例〔🎵：聴く活動 📄：学習プリント〕	指導のポイント
○本時のめあてをつかむ。	 <p>今から流れる音楽を聴いて、[気付いたこと]や[感じたこと]を近くの人と情報交換しましょう。</p> <p>1曲目は、小学校の時に聴いたよ。</p> <p>1曲目と2曲目、両方とも日本的な感じがするな。</p> <p>お正月の初詣で聴いたことがある曲だった。</p> <p>1曲目は、尺八と箏で演奏される曲だったよね。</p> <p>同じような音だったから、同じ楽器が使われているのかな。</p> <p>楽器の音色に関する意見が多くありましたね。今日は、世界の楽器の音楽を鑑賞していきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の興味・関心を音楽に集中させるために、音のみで聴取する。 ●他者との情報交換をすることで、多様な考えを知る場を設ける。 ●生徒の気付きや発言を基に、めあてを提示する。
○「春の海」と「チャトリ」を比較しながら聴く。	 <p>どのような楽器で演奏されていたか確認してみましょう。</p> <p>尺八とスリンは、見た目はほとんど同じ楽器だ。</p> <p>スリンは、リボンみたいな物がついているよ。</p> <p>箏とカチャピは、音は似ていたけど…何が違うんだろう。</p> <p>2曲とも管楽器と弦楽器で演奏されていたね。</p> <p>それでは、もう一度2曲を聴いてみましょう。どのようなイメージや場面が想像できましたか。理由も書きましょう。</p> <p>お正月がイメージできたよ。明るい感じの旋律がおめでたい雰囲気だった。</p> <p>キラキラした音で懐かしい雰囲気もあったから、夕焼けの中を家に帰っていく場面が想像できた。</p> <p>似ている楽器の音でもイメージが違うのは、何か理由があると思うよ。</p> <p>他にも似ている楽器ってあるのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●視覚からも情報が得られるように、楽器の様子などが確認できる画像や映像を準備する。 ●音楽から喚起されるイメージなどを考えながら聴取することで、自分の考えを具体的に認識できるようにする。 ●生徒の発言を基に、繰り返し音楽を聴く活動を設定することで、音楽を通して気付きを共有できるようにする。
○題材の課題をつかむ。	 <p>インターネットで調べたら、箏や尺八と形が似ている楽器は、中国とか韓国とか、アジア地域に多くあるよ。</p> <p>今回は、日本の伝統音楽と世界の諸民族の音楽の『楽器による音楽』の鑑賞を進めていきます。</p> <p>【題材の課題】 世界の様々な楽器による音楽の特徴を捉え、音楽のよさや美しさを味わおう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ICT端末を活用し、主体的に学習に取り組めるようにするため、学習に適したWebサイトを提示する。 ●題材を通しての課題を確認することで、学習の見通しを立てられるようにする。
○学習のまとめをし、学びを振り返る。	<p>世界には、日本の楽器と形や音が似ているものがあった。何かつながりや関係があるのかなと思った。でも、それぞれの曲の雰囲気は違っていたので、次の時間で理由を探していきたい。</p>	

学習活動	活動例 [🎵: 聴く活動 📄: 学習プリント]	指導のポイント
○本時のめあてをつかむ。	<p>前は、管楽器と弦楽器による音楽を聴きましたね。日本とインドネシアの音楽を比べてみてどうでしたか。</p> <p>楽器の音や形は似ていたけど、音楽の雰囲気は違っていました。</p> <p>そう感じたのは、何か理由があるのでしょうか。他の国の音楽も聴いて探ってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前時の振り返りを行うことで、自己の気づきや他者への共感を促す。 ●共通点や相違点に気付けるようなめあてを示す。
○「キャラバン」と「ウマウアケーニョ」の音楽の特徴を探る。	<p>さて、今回はどこの国の音楽でしょうか。</p> <p>明るい感じの曲だから、比較的暖かな国かな。</p> <p>尺八と音が似ていたから、日本と近い国だと思う。</p> <p>プリントの地図で確認してみましょう。</p> <p>音が似ていたのに、3の国は日本と遠い国だったね。</p> <p>4は南米だね。もっと日本と近い国だと思った。</p> <p>二つの曲を聴いて、感じ取ったことや聴き取ったことなど、音楽の特徴をまとめてみましょう。</p> <p>サントウールの音がキラキラしていたから、太陽の光が輝いている感じがしたよ。</p> <p>弾むようなリズムと音が跳ぶ旋律だったから、楽しいお祭りみたいな感じがしました。</p> <p>ケーナの音楽は、何だか懐かしい雰囲気がしたよ。尺八と似た楽器だからなのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽のイメージから国を想像できるように、国名を知らせずに聴く。 ●世界地図などを利用して、地域的な背景との関わりを意識するきっかけを作る。 ●楽器の形を認識しながら聴取できるように、演奏の映像を流す。 ●サントウールは打弦楽器のため、撥弦楽器との違いを認識できるように資料などを提示する。 ●楽器のルーツや音階など踏まえて、歴史や文化について説明する。 ⇒参考資料参照
○四つの音楽を比較する。	<p>では、今までの4曲の特徴を踏まえて、似ている部分と違う部分を比較してまとめた後、グループで発表してみましょう。</p> <p>スリンとケーナは楽器の形も音も似ていたし、両方とも日本っぽい感じがしたよ。</p> <p>カチャピとサントウールは金属の弦で音は似ていたよ。でも、その地域特有の音階だったから、雰囲気は違ったよ。</p> <p>同じ音階が使われると、曲の雰囲気も似てくるのかな。</p> <p>同じ金属弦だけど、演奏方法の違いで音色も変わるんだね。</p> <p>四つの音楽を聴き比べて、楽器の音色や地域特有の音階などに着目して、音楽を捉えることができましたね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ペア活動やグループ活動など学習形態を工夫し、様々な視点から音楽を捉えられるようにする。 ●生徒の意見や発言を音楽を通して確認する時間を設ける。
○学習のまとめをし、学びを振り返る。	<p>似ている楽器が使われている地域は、歴史や文化でつながりがあると思った。でも、似ている楽器が使われていても、独特な音階だったり、特徴的なリズムだったり、その国に古くから伝わる伝統的な部分もあることが分かった。</p>	

学習活動	活動例〔  ：聴く活動  ：紹介文シート〕	指導のポイント
○本時のめあてをつかむ。	<p>前回までに、四つの国の楽器による音楽を聴きましたね。特徴を探ってみて、どうでしたか。</p> <p>似ている楽器でも演奏方法や素材で音色の変化があったり、その国々で音楽の特徴があったりすることが興味深かったです。</p> <p>では、学習してきたことを基に、音楽の特徴や自分が感じた音楽のよさなどを紹介し合いながら、音楽を味わって聴きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●前時の振り返りを行うことで、自己の気付きや他者への共感を促す。
○紹介文を書き、グループで発表する。	<p>今回は、「担任の先生」に曲を紹介する文を書いてみましょう。紹介文を読んだ先生が、みなさんの思いや考えに触れて、「その曲、聴いてみたいな」と思うように工夫して書いてみましょう。</p> <p>みなさんに書いてもらった紹介文をグループの中で発表しましょう。質問がある人は、書いた人に質問してみてください。</p> <p>どうして「チャトリ」を紹介しようと思ったの。</p> <p>カチャピの音がキラキラしていたし、沖縄の音階に似ていて、きれいな海が思い浮かんだからだよ。</p> <p>私は「キャラバン」が神秘的な感じで素敵だなと思ったよ。</p> <p>遠い国の音楽だと思ったけど、楽器とか音階とか、いろいろな部分でつながっていて面白いね。</p> <p>他の人の思いや考えに触れてみて、どうでしたか。友達の思いや考えを知って気付くことや、世界の音楽に対して新たな発見がありましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●紹介文の場合、伝える相手を明確にすることで、相手に伝わりやすいように書いたり、より具体的に書こうしたりする意欲につなげる。（担任の先生に向けては一例です） ●生徒の実態を考慮して、紹介文や批評文などまとめ方を工夫する。 ●音楽に対する評価や価値を他者に伝え合うことで、自分の価値認識を再確認し、学習の深まりにつなげる。 ●生徒の発言を受けて全体で意見を共有する際には、音楽を通して確認できるようにする。
○学習のまとめをし、題材の学びを振り返る。	<p>今までの学習を振り返り、もう一度、四つの曲を鑑賞してみましょう。自分の中の音楽に対する思いや価値、友達の意見や考えを大切にしながら聴いてみましょう。</p> <p>【課題を達成した姿】 世界の様々な楽器の音楽の共通性や固有性について考え、音楽の多様性を理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わっている</p> <p>日本とインドネシアの音楽は、使われている音階が似ているということを知りました。「チャトリ」を聴いて、沖縄の音楽みたいな感じがして、とても身近に感じました。でも、同じ撥弦楽器でも使われている弦の素材の違いが、音色にも大きく関わっていることが分かりました。他にも世界には日本の箏と似ている楽器がたくさんあるので、違う撥弦楽器の音楽を聴いてみたいと思いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●題材で学んだことを振り返りながら再鑑賞することで、音楽表現のよさや美しさを味わって聴くことにつながっていく。